

短冊彩る背割堤を散策

淀川河川公園背割堤地区で旧暦の七夕を楽しむ「納涼七夕まつり」が8月6日～7日にかけて行われ、2日間で約1500人が来場しました。

納涼七夕まつり



園路をそぞろ歩く来場者たち

同まつりは、淀川三川合流地点の歴史や自然、景観の魅力を知ってもらおうと、市内NPO団体や国・府・市などで開催。期間中は、人気飲食店の模擬店が立ち並び、雪遊びコーナーや男山第二中学校の吹奏楽部による演奏、カーン体験など、さまざまなイベントが催されました。7日には、熊本地震で甚大な被害を受けた「阿蘇猿まわし劇場」による震災復興支援チャリティ公演を実施。猿が竹馬などの芸を成功させる度に、観客からは大きな拍手が送られていました。

また、会場には願いごと記載所が設けられ、来場者は、願いごとを書いた短冊を、堤防上の園路に飾られた笹に結んでいました。日暮れ頃からは、約400灯籠に明かりが点灯。来場者は、園路を包むやわらかな光と、涼しげな風鈴の音色が織りなす心地よい空間をそぞろ歩いていました。



猿まわしパフォーマンスを楽しむ来場者たち

遺伝子って不思議だね

夏の親子理科実験教室

摂南大学枚方キャンパスで8月6日、「夏の親子理科実験教室」が行われ、小学生の親子連れら約40人が遺伝子の本体である、DNAを取り出す実験に取り組みました。

同教室は、親子で実験を楽しみながら、理科へのさらなる興味を広げてもらおうと、美濃山コミュニティセンターが企画。同大学薬学部教授の大塚正人さんの協力を得て実施されました。

はじめに、大塚さんが、「人の体内には、身体をつくる情報が詰まった遺伝子という『生命の設計図』があり、遺伝子の研究が、病気の治療に役

立つ」など、遺伝子の可能性や実験の進め方について説明。

参加者たちは、頬の内側からこすり取った粘膜細胞を容器に入れ、薬品を加え、混ぜたり、お湯につけたりといういくつかの手順を、大塚さんや学生たちのサポートを受けながら慎重に進めました。白い糸状の束になったDNAが取り出されると、驚きながら、不思議そうに眺めていました。

参加した平八重春来くん(7)の祖父は、「孫が理科に興味をもつ良いきっかけになりました」と笑顔で話していました。



大塚さん(写真右)の説明を熱心に聞く参加者たち

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。



高田さん(写真右)から描き方を学ぶ児童

旅の思い出、アイドル目指す物語…

生涯学習センターで8月5日、「4コママンガの描き方教室」が行われ、小学生15人がマンガ作りを体験しました。この講座は、漫画家・イラストレーターの高田悠希さんを講師に招き、ストーリーマンガの基本となる4コママンガの描き方を学び、創造する楽しさを感じてもらおうことを目的に開催。

はじめに、子どもたちは、登場人物の口の大きさや角度、眉毛の上げ下げを使い分けて喜怒哀楽を表す方法など、マンガの上手な描き方を教わりました。その後、4コママンガの作成に挑戦。高田さんから、「ガーン」といった状態を表現する言葉を使った方が、コマに迫力や臨場感が出るなど、アドバイスを受けながら、旅先での思い出やアイドルを目指す物語など、自分だけの4コママンガを描きました。マンガが完成すると、高田さんの解説を交えて全員の作品を鑑賞。子どもたちは、スクリーンに映し出されたユニークなマンガの数々を楽しそうに見入っていました。

自分だけの4コママンガを描く

詐欺かも ▶ すぐ通報

熱中症のど渴求前に水分補給

8月18日、南山集会所で八幡警察署・消防本部の女性署員を中心とした「防災・防犯講演」が行われ、地域住民約20人が参加しました。

同集会所では、地域の女性たちがボランティアで喫茶「なでしこカフェ」を運営。女性に例えられ

警察署員が出題するクイズで盛り上がる参加者たち



る「なでしこ」つながりで、八幡警察署の「平安なでしこ交番」(女性が24時間体制で常駐)に勤務する女性警察官と、消防本部唯一の

女性消防吏員が参加し、同講演が実現しました。

はじめに、消防署員が「のどが渴求前からこまめに水分補給をし

て、無理せずエアコンや扇風機を利用しましょう」と熱中症対策や防災全般に関して説明。

続いて、警察署員が、詐欺電話の実録音声を流すなど、近頃多発している還付金詐欺や振り込め詐欺といった特殊詐欺を紹介し、不審に思ったらすぐに通報するよう呼びかけていました。

参加した石橋一美さんは、「テレビの報道では実感がわきませんでしたが、実際に話を聞くと、しっかりしないといけないと思いました」と話していました。

防災・防犯講演